

島根県における血圧管理状況の現状とその課題

おか 達 郎¹⁾ まき の ゆ み こ²⁾ おお しろ ひとし³⁾
 たに ぐち えい さく⁴⁾ かん だ ひで ゆき⁵⁾ 谷 口 栄 作 神 田 秀 幸

キーワード：高血圧，糖尿病，健康診断，血圧管理，降圧剤

要 旨

脳血管疾患等循環器疾患の発症予防を進めるうえで、高血圧および糖尿病の管理はきわめて重要である。本研究は、島根県における血圧管理状況等を分析することにより、県内の取り組みに資することを目的とする。島根県の2008年から2012年の健診受診者のうち40歳以上の者を対象として、血圧値の分布及び血圧管理率（降圧剤服薬中の者のうち140/90 mmHg未満の者の割合）を算出した。分析の結果、2012年の血圧管理率は64.3%であり、更なる改善が必要と思われた。また、糖尿病有病者の血圧管理率については61.6%であるが、高血圧治療ガイドラインに示されている糖尿病有病者の血圧管理基準（130/80 mmHg未満）で算出すると28.3%であり、十分な管理水準に達していないと考えられた。今後血圧管理状況の改善に向け、医療機関や市町村の保健担当部門等と連携した取組の強化が必要と考える。

1. はじめに

わが国における脳血管疾患の死亡率は、かつては主要死因の第1位を占めていたが、生活習慣の変化や高血圧管理の進歩などにより半減した。島根県では、男性における脳血管疾患の年齢調整死亡率は1970年代から全国と比較して高かったが、

1980年代後半以降は全国値並みとなった。1990年頃以降は全国値を下回っていたものの、近年は再び全国値並みとなっている。一方、島根県の女性においては、1980年代後半以降全国値より低く推移していたが、近年は全国値並みとなっている。また、島根県での年齢調整脳血管疾患発症率の推移を見ると、男女とも近年はほぼ横ばいで推移しており、低下がみられなくなっている（図1）¹⁾。また、島根県が独自に実施している脳卒中発症状況調査によると、基礎疾患として高血圧、糖尿病、心疾患を有する者が多い状況にある。

2016年国民生活基礎調査²⁾によると、寝たきり

Tatsuro OKA et al.

1) 島根県健康福祉部医療政策課

2) 島根県出雲保健所

3) ヘルスサイエンスセンター島根
 (元 島根県保健環境科学研究所)

4) 島根県健康福祉部

5) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

連絡先：〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
 島根県健康福祉部医療政策課